

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

☐は閉庁日です。

6月の献血

☎ 社会福祉課 内線 2312

日	場 所	時 間
16(水)	伝法公民館	9:30~10:30
	富士市農協今泉支店	11:00~12:00
	ひのや鮫島店	13:30~15:30
17(木)	市役所西口	9:30~15:30
26(土)	J R 富士駅前	10:00~16:00
29(火)	吉永北公民館	10:00~11:00
	ユニー吉原店広場	12:30~14:00
	天間公民館	14:30~15:30

ツベルクリン反応検査とBCG接種

☎ 保健婦人センター 62-6311

と き 6月22日(火)~7月7日(水)の内
の10日間
(接種2日後に判定及びBCG)

対 象

- 平成3年6月1日~4年5月31日に生まれた幼児
- 満4歳未満でまだ受けていない幼児
- ツベルクリン反応検査の結果、陰性であったがまだBCG接種を受けていない幼児

※ツベルクリン反応検査接種券やBCG接種の問診票のない人は、母子健康手帳のほかに印鑑を持参してください。(朝と昼食前の体温を計ってください)

☆日時、会場は健康カレンダーをご覧ください。

市民プールがオープン

☎ 温水プール 36-2131

と き 6月15日~9月15日
9:00~18:00
休場日 毎週木曜日(ただし7月21日~8月31日は無休)
料 金 大人 200円
高校生 100円
小・中学生 50円
※幼児は無料(ただし保護者の付き添いが必要です)
問い合わせ 市民プール ☎63-4542

シルバー健康体操教室

☎ 温水プール 36-2131

と き 7月7日~9月8日 毎週水曜日
① 9:30~10:30
② 10:40~11:40
と ころ 富士柔剣道場
定 員 ①②とも各60人
対 象 市内在住・在勤の60歳以上の男女
受講料 1,500円
申し込み 6月23日~29日に受講料を持参し、勤労者体育センター☎35-0672、富士体育館☎53-0900、富士文化センター☎61-6262へ

健康カレンダーの変更

乳児相談

6月9日の乳児相談は中止になります。
なお、神戸公民館は6月2日に変更になります。☎保健婦人センター 64-8994

6月の歩く会

☎ 体育振興課 内線 2727

と き 6月20日(日) 雨天は27日
と ころ 平和公園(御殿場)
集 合 富士駅改札口前 8:40
コ ー ス 富士駅 8:53 → 沼津駅 9:12
御殿場線乗りかえ → 御殿場駅
9:58 → 平和公園
片道約4時間
持ち物 弁当、水筒、雨具など
問い合わせ 歩く会事務局(桑原方)へ
☎52-2764

エアロビクス教室

☎ 温水プール 36-2131

と き 7月7日~9月8日 毎週水曜日
10:00~11:30
と ころ 富士体育館(剣道場)
定 員 30人
対 象 市内在住の一般男女
受講料 3,000円
申し込み 6月23日~29日に受講料を持参し、勤労者体育センター☎35-0672、富士体育館☎53-0900、富士文化センター☎61-6262へ

中央病院は6月から第2・4土曜日の外来診療をお休み

させていただきます
救急患者の診療は今までどおり24時間体制で行います 中央病院☎52-1131

健康コーナー

しぜんききょう 自然気胸

肺の中の空気が肺の外にもれて、胸腔の中に空気またはガスがたまる状態を気胸と言います。

肺の一部が破れると、肺のなかの圧は大気圧と等しいので、陰圧である胸腔内へ空気は漏れます。胸腔は気密になっていますので、行き場のなくなった空気の量が増して、そのために肺は小さく縮みます。それらの中で、外傷などの外因がなくて起こってくるものが自然気胸です。

気腫性のう胞といって、肺の一部が

袋状に膨らんだものが破れて起こるものが大部分を占めますが、肺結核や肺化膿症の空洞が胸腔に破れる場合(続発性気胸)もあります。気腫性のう胞の破裂によるものは、20歳代に多く、男女比は4:1と男性に多く見られます。

症状は、突然起こる胸痛と呼吸困難です。診断は胸部X線写真で容易にわかります。治療としては、安静療法、脱気療法、胸膜癒着促進、外科的療法などがあります。ある程度の気胸は、胸腔にチューブを挿入、脱気し、肺を膨らませます。しかし、脱気療法で無効なもの、再発を繰り返すもの、巨大のう胞や多数の気腫性のう胞のあるも

のなどは、外科的手術の適応となります。最近では、大きく切らず胸壁に数ヵ所穴をあけ、そこより内視鏡、器具を挿入してのう胞切除を行う胸腔鏡下手術も行われています。体への負担も少なく、今後の主流となるでしょう。

〈富士市医師会〉

レター通信

社会の中での人事異動や対人関係がきっかけになることが多い、五月病と言われる軽いうつ病のようになってしまっている人がいます。これには、家族の温かい支えが必要です。